

### 3. 歯や口（口腔）の健康について

#### 調査結果の概要

<b>テーマ</b>	歯や口（口腔）の健康について
<b>担当課</b>	健康福祉局 健康部 健康推進課
<b>設問数</b>	15 問
<b>趣旨・目的</b>	<p>本市では市民が生涯にわたって歯や口（口腔）の健康を大切に、いきいきと元気な生活がおくれることをめざして「堺市歯科口腔保健推進計画（第 2 次）」を平成 30 年 3 月に策定し、総合的な取組を進めています。</p> <p>今回のアンケートは、本計画の見直しや基本的事項を検討することを目的として活用するものです。</p>
<b>調査結果</b>	各設問のページをご覧ください。
<b>調査結果に係る 担当課の所見</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・問 37 では、堺市成人歯科検診を半数以上が知らないため、堺市成人歯科検診について周知できるよう SNS 等を活用した広報を実施します。</li><li>・問 39 では、歯周病が関連する全身疾患について、回答の選択肢はいずれも歯周病と関係する疾患ですが、最も認識されているものでも半数に届いておらず、認知度が低いと見られるため、歯周病と全身疾患との関連について情報を提供します。</li><li>・問 40 では、特に 60 歳代及び 70 歳以上の市民の約 3 割が、お口の体操について知らないため、口腔機能を維持する方法について情報を発信し、健康寿命の延伸を図ります。</li></ul>

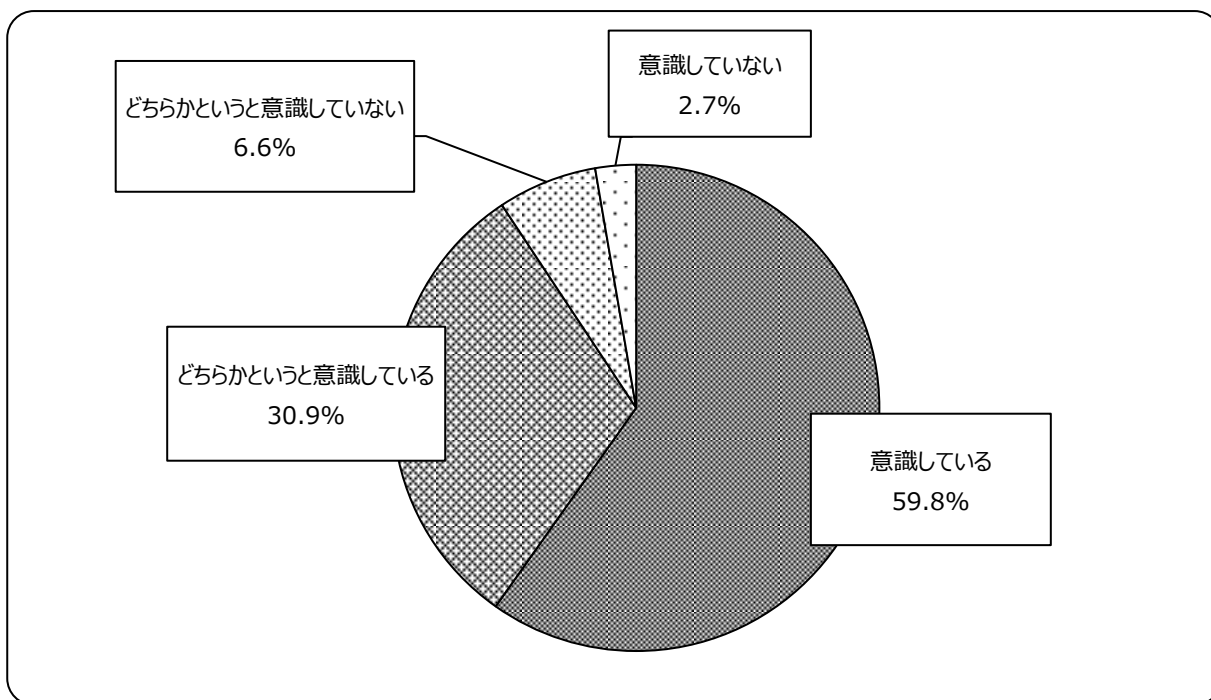
(1) 歯や口腔の健康への関心について

問 27. 歯や口（口腔）の健康について意識をしていますか。

【1つ選択】

「意識している」と「どちらかという意識している」とを合わせた回答率は約 9 割である。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	意識している	288	59.8%
2	どちらかという意識している	149	30.9%
3	どちらかという意識していない	32	6.6%
4	意識していない	13	2.7%
	計 (回答総数)	482	100.0%



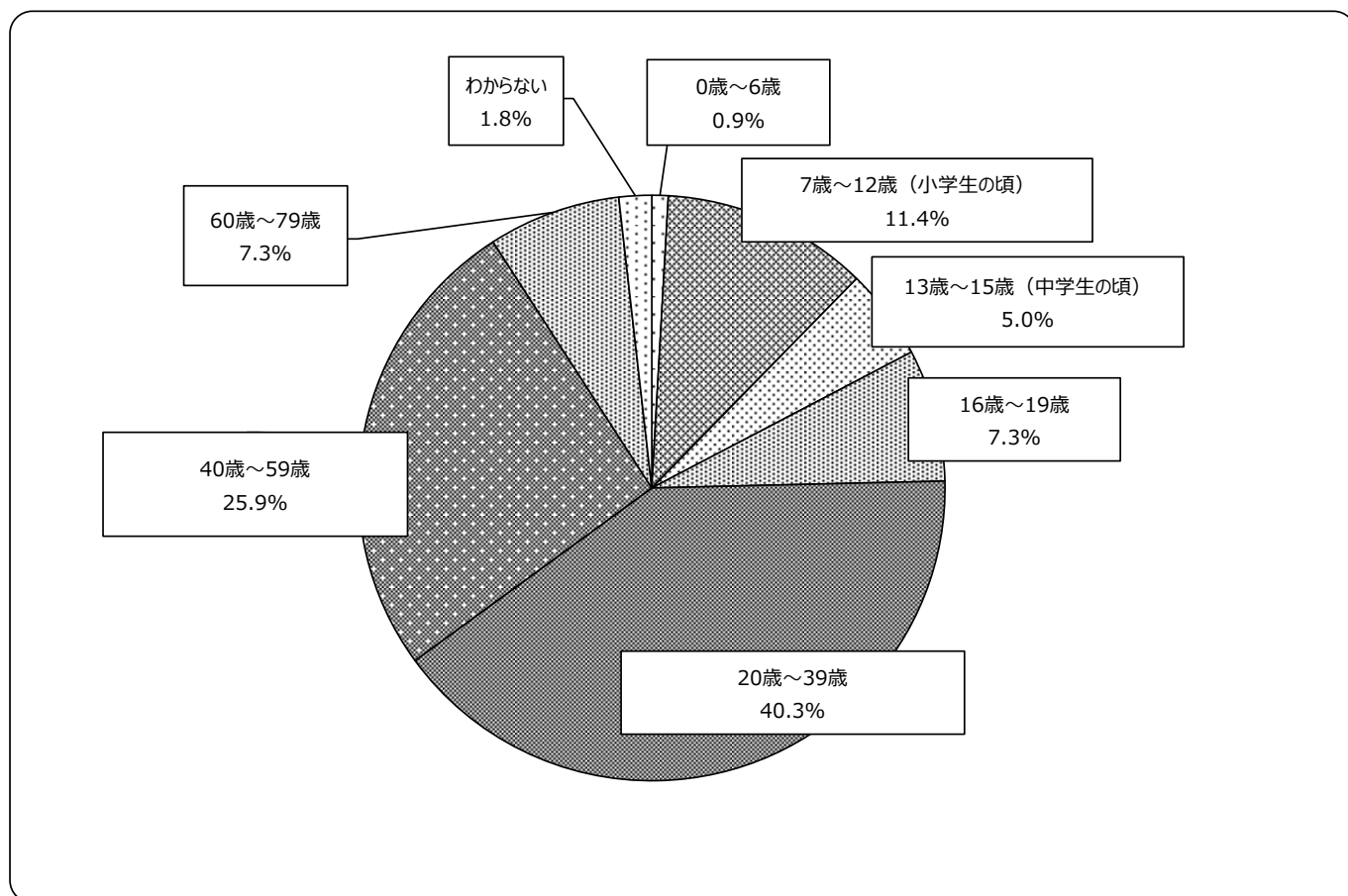
問 28. 問 27 で「1 意識している」「2 どちらかという意識している」と回答された方に伺います。

歯や口（口腔）の健康について意識するようになったのはいつ頃からですか。

【1 つ選択】

「20 歳～39 歳」と「40 歳～59 歳」とを合わせた回答率は 66.2%であり、成人期から壮年期に意識するようになった方が多く、次いで小学生の頃となっている。

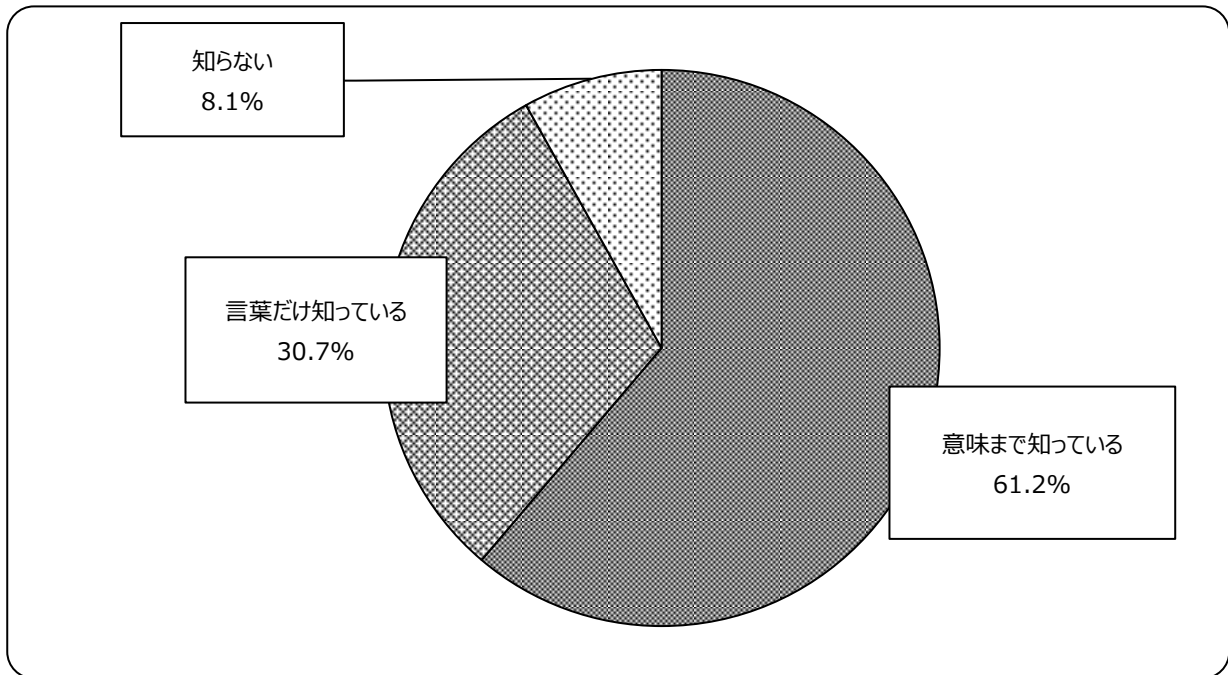
	選択項目 (N=437)	回答数	構成比
1	0歳～6歳	4	0.9%
2	7歳～12歳 (小学生の頃)	50	11.4%
3	13歳～15歳 (中学生の頃)	22	5.0%
4	16歳～19歳	32	7.3%
5	20歳～39歳	176	40.3%
6	40歳～59歳	113	25.9%
7	60歳～79歳	32	7.3%
8	80歳～	0	0.0%
9	わからない	8	1.8%
	計 (回答総数)	437	100.0%



**問 29. 健康寿命という言葉を知っていますか。****【1つ選択】**

「意味まで知っている」と回答した方は 61.2%となっている。一方で、「言葉だけ知っている」を含めた回答率は 91.9%であり、言葉の知名度は上がっている。

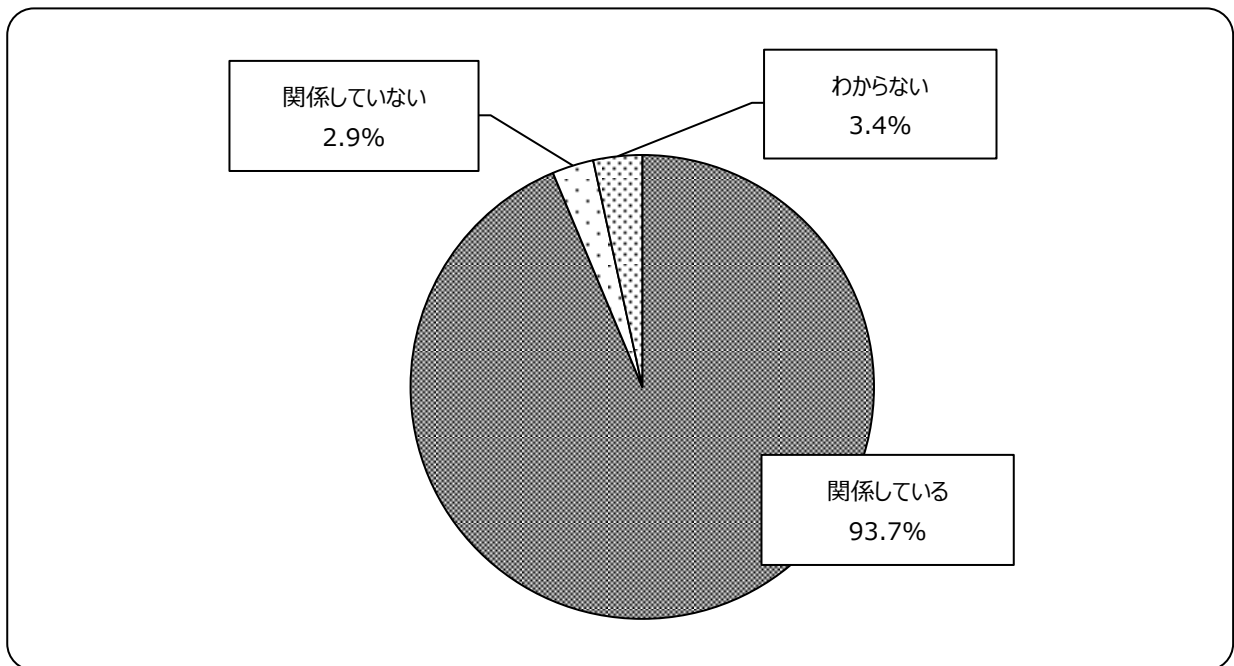
	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	意味まで知っている	295	61.2%
2	言葉だけ知っている	148	30.7%
3	知らない	39	8.1%
	計 (回答総数)	482	100.0%



**問 30. 問 29 で「1 意味まで知っている」「2 言葉だけ知っている」と回答された方に伺います。歯や口（口腔）の健康は健康寿命と関係していると思いますか。 【1 つ選択】**

「関係している」と回答した方は 93.7%であり、歯や口（口腔）の健康と健康寿命との関係を認識している方は、多い結果になった。

	選択項目 (N=443)	回答数	構成比
1	関係している	415	93.7%
2	関係していない	13	2.9%
3	わからない	15	3.4%
	計 (回答総数)	443	100.0%



(2) 歯や口（口腔）の健康を保つための生活習慣について

問 31. 歯みがきの方法について、どこで学んだ経験がありますか。

【複数選択可：いくつでも】

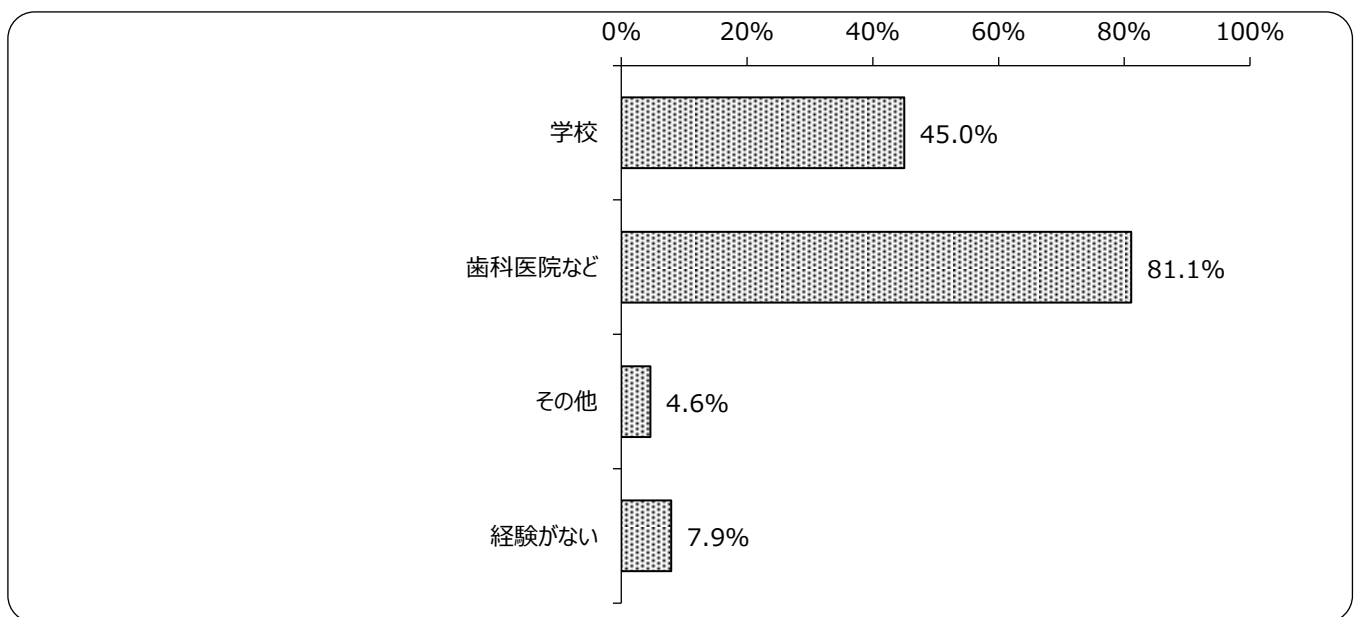
「歯科医院など」と回答した方は 81.1%と最も高くなっており、次いで、「学校」が 45.0%となっている。

	選択項目 (N=482)	回答数	回答数/N
1	学校	217	45.0%
2	歯科医院など	391	81.1%
3	その他	22	4.6%
4	経験がない	38	7.9%

[3 その他]

【主な回答】

- 家庭
- 職場
- メディア
- 妊婦健診
- 子どもの定期検診など
- 堺市口腔センターの催し
- 保健センターの歯科検診

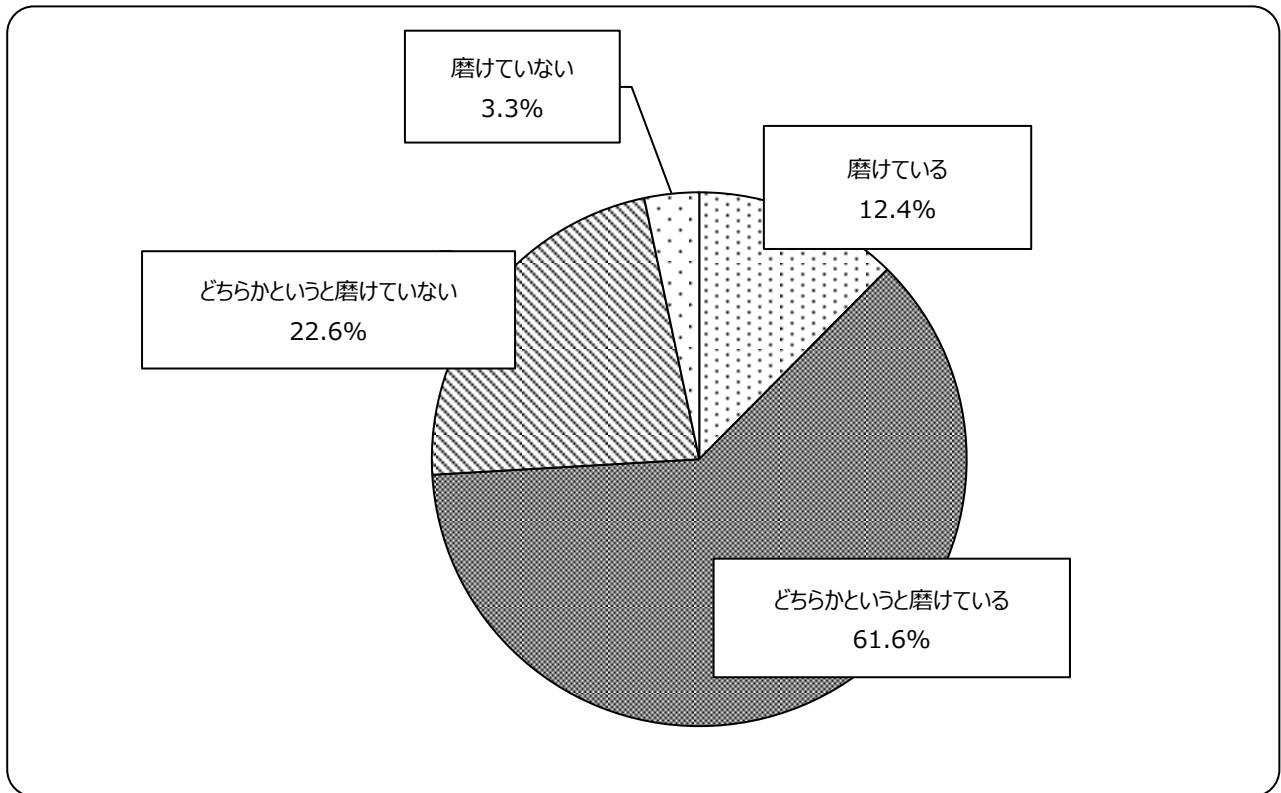


問 32. 自分の歯は、磨けていると思いますか。

【1つ選択】

「磨けている」と「どちらかという磨けている」とを合わせた回答率は 74.0%となっている。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	磨けている	60	12.4%
2	どちらかという磨けている	297	61.6%
3	どちらかという磨けていない	109	22.6%
4	磨けていない	16	3.3%
	計 (回答総数)	482	100.0%



問 33. 歯につまった食べものを取り除く時に使用している道具は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

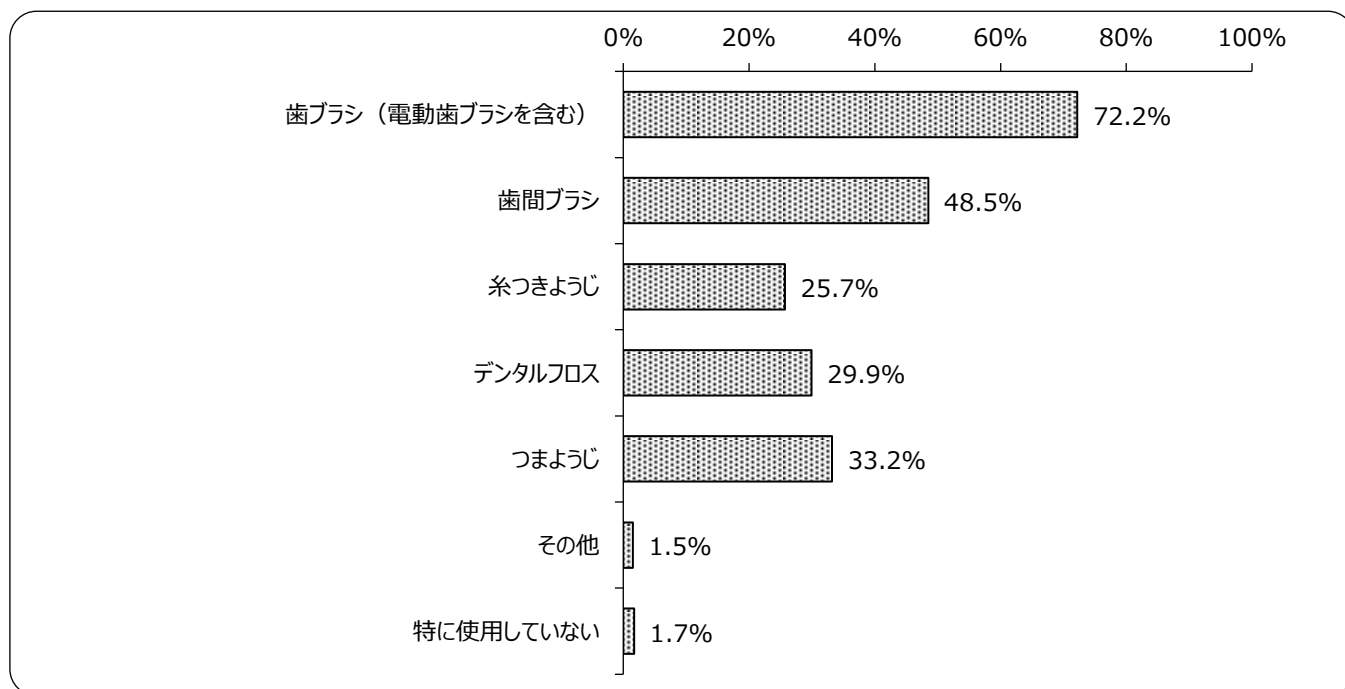
「歯ブラシ（電動歯ブラシを含む）」が 72.2%と最も多く、次いで「歯間ブラシ」が 48.5%であった。

	選択項目 (N=482)	回答数	回答数/N
1	歯ブラシ（電動歯ブラシを含む）	348	72.2%
2	歯間ブラシ	234	48.5%
3	糸つきようじ	124	25.7%
4	デンタルフロス	144	29.9%
5	つまようじ	160	33.2%
6	その他	7	1.5%
7	特に使用していない	8	1.7%

[6 その他]

【主な回答】

- ワンタフトブラシ
- 口腔洗浄器
- 超音波洗浄機
- 舌先でこすり落とす。
- 爪





問 34. 治療目的以外の歯科検診（職場や歯科医院での定期的な歯科検診）を受けていますか。 【1つ選択】

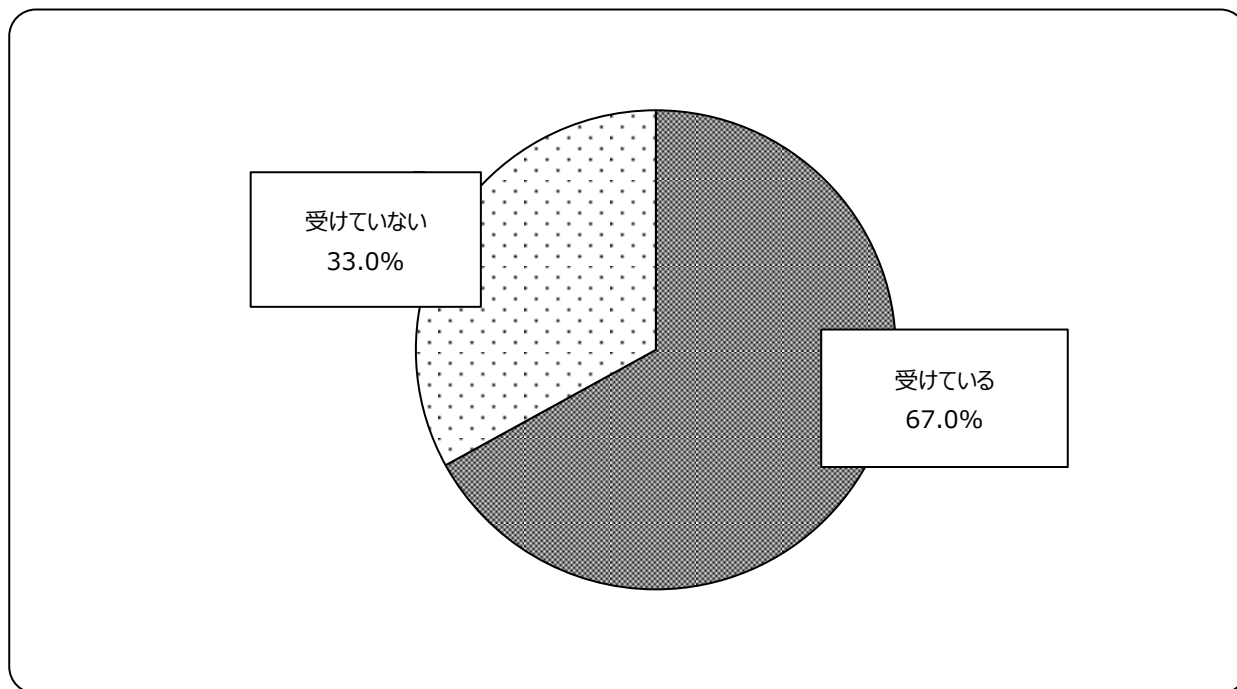
「受けている」と回答した者は 67.0%となっている。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	受けている	323	67.0%
2	受けていない	159	33.0%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[2 受けていないの理由]

【主な回答】

- 診察代がかかるため
- きっかけがない。
- 時間がない。
- 歯痛などの自覚がないと行く動機がない。
- 歯医者は苦手
- 定期的に歯科医院に受診しているから



問 35. どのような要因があれば定期的に歯科検診を受診したくなりますか。

【複数選択可：いつでも】

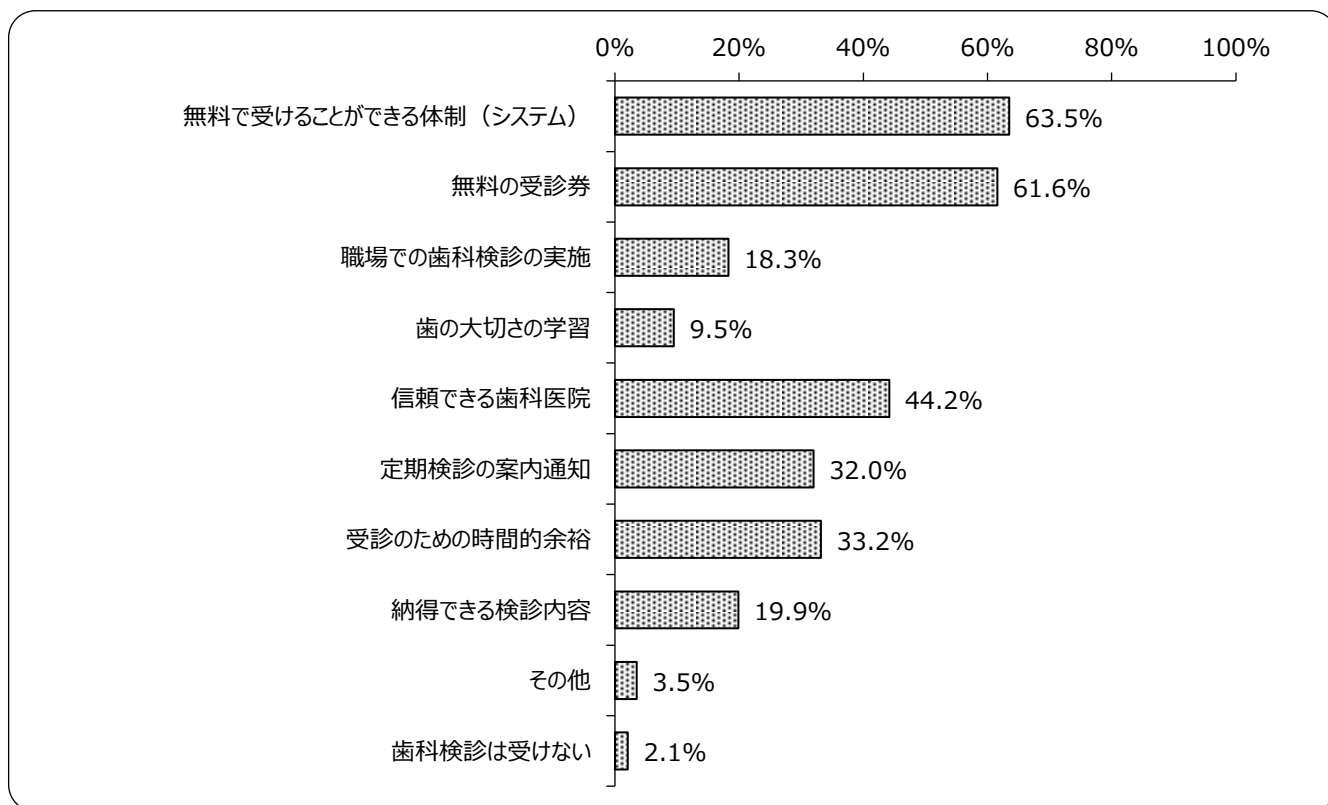
「無料で受けることができる体制（システム）」が63.5%と最も多く、次いで「無料の受診券」が61.6%であった。

	選択項目 (N=482)	回答数	回答数/N
1	無料で受けることができる体制（システム）	306	63.5%
2	無料の受診券	297	61.6%
3	職場での歯科検診の実施	88	18.3%
4	歯の大切さの学習	46	9.5%
5	信頼できる歯科医院	213	44.2%
6	定期検診の案内通知	154	32.0%
7	受診のための時間的余裕	160	33.2%
8	納得できる検診内容	96	19.9%
9	その他	17	3.5%
10	歯科検診は受けない	10	2.1%

[9 その他]

【主な回答】

- 託児サービス
- 行きたいときにすぐに予約が取れる。
- 割引やポイントなどの何らかの訴求力がある策がほしい。
- 歯科検診のみ実施してくれる会場があれば受ける。

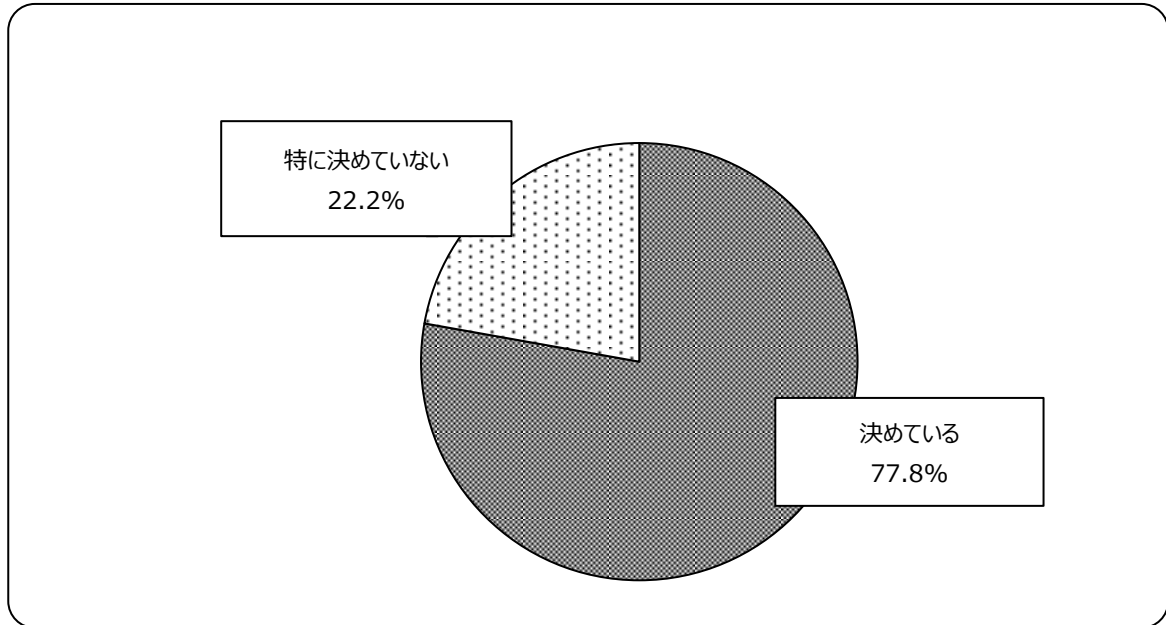


問 36. かかりつけの歯科医院を決めていますか。

【1つ選択】

「決めている」と回答した方が 77.8%となっている。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	決めている	375	77.8%
2	特に決めていない	107	22.2%
	計 (回答総数)	482	100.0%



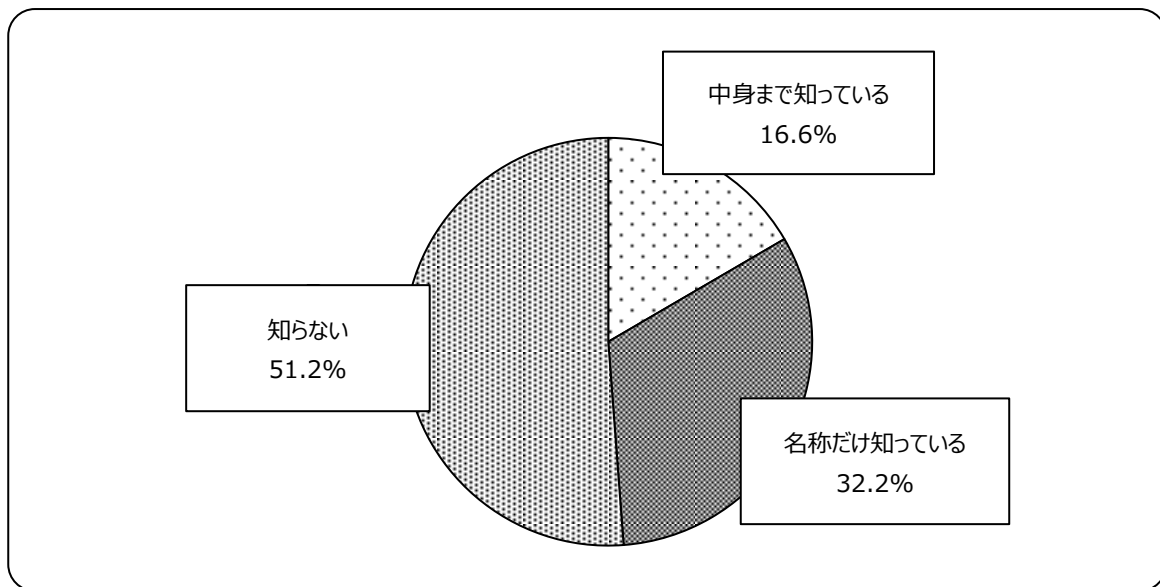
### (3) 市の取組について

問 37. 「堺市成人歯科検診」を知っていますか。

【1つ選択】

「中身まで知っている」と回答した方は 16.6%であり、「名称だけ知っている」を含めた回答率は 48.8%と、半数を下回っている。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	中身まで知っている	80	16.6%
2	名称だけ知っている	155	32.2%
3	知らない	247	51.2%
	計 (回答総数)	482	100.0%

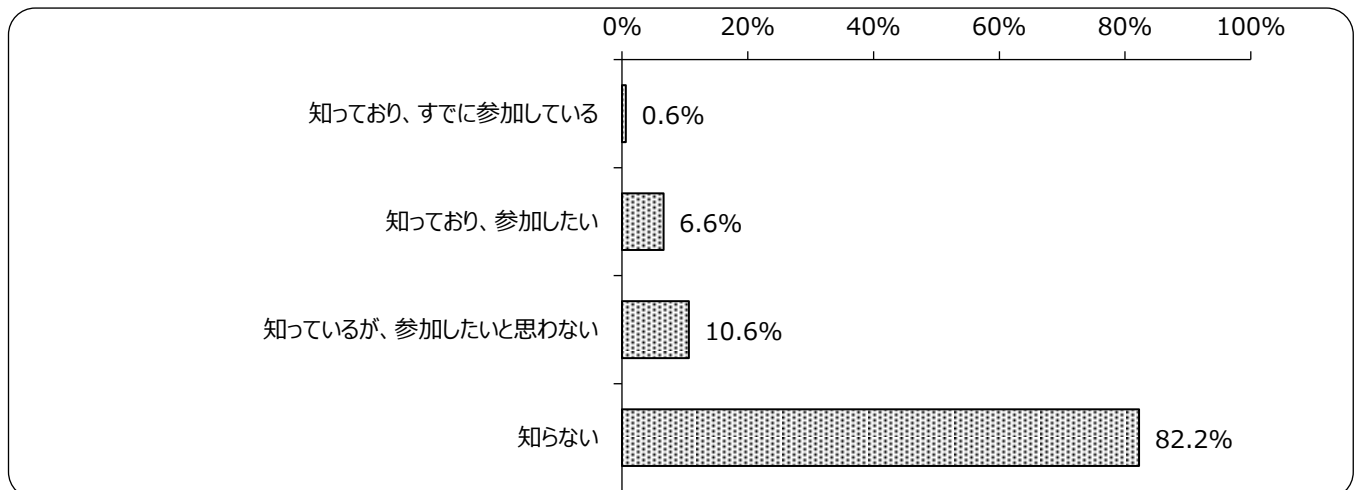


問 38. 歯と口の健康づくりボランティアグループ「堺市 8020 メイト」を知っていますか。

【1 つ選択】

「知らない」と回答した方は 82.2%となっている。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	知っており、すでに参加している	3	0.6%
2	知っており、参加したい	32	6.6%
3	知っているが、参加したいと思わない	51	10.6%
4	知らない	396	82.2%
	計 (回答総数)	482	100.0%



(4) 歯や口（口腔）の健康を保つための取組について

問 39. 歯や口（口腔）の疾患に歯周病があります。歯周病と関係していると思うものを選んでください。

【複数選択可：いくつでも】

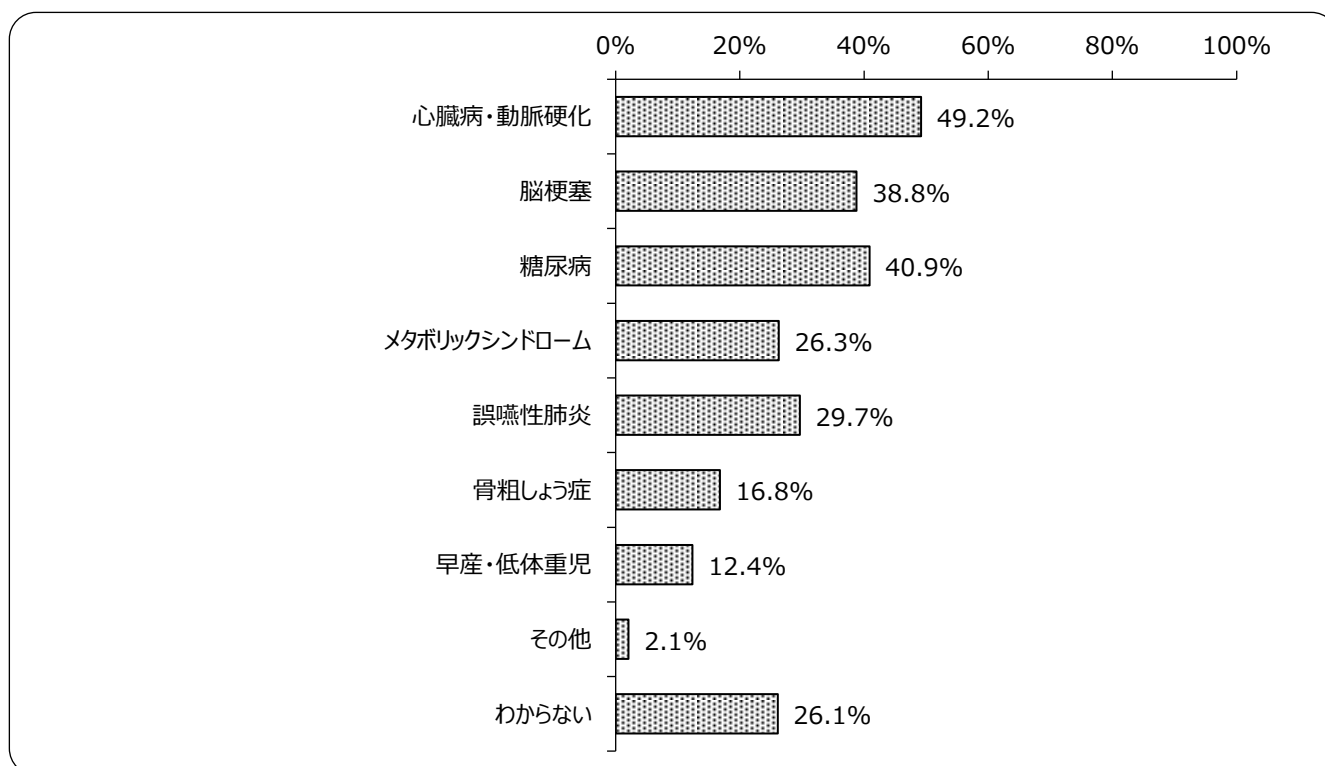
「心臓病・動脈硬化」が 49.2%と最も多く、次いで「糖尿病」が 40.9%である。また、「わからない」が 26.1%となっている。

	選択項目 (N=482)	回答数	回答数/N
1	心臓病・動脈硬化	237	49.2%
2	脳梗塞	187	38.8%
3	糖尿病	197	40.9%
4	メタボリックシンドローム	127	26.3%
5	誤嚥性肺炎	143	29.7%
6	骨粗しょう症	81	16.8%
7	早産・低体重児	60	12.4%
8	その他	10	2.1%
9	わからない	126	26.1%

[8 その他]

【主な回答】

- 腸内環境
- 大腸疾患
- 認知症
- 栄養失調

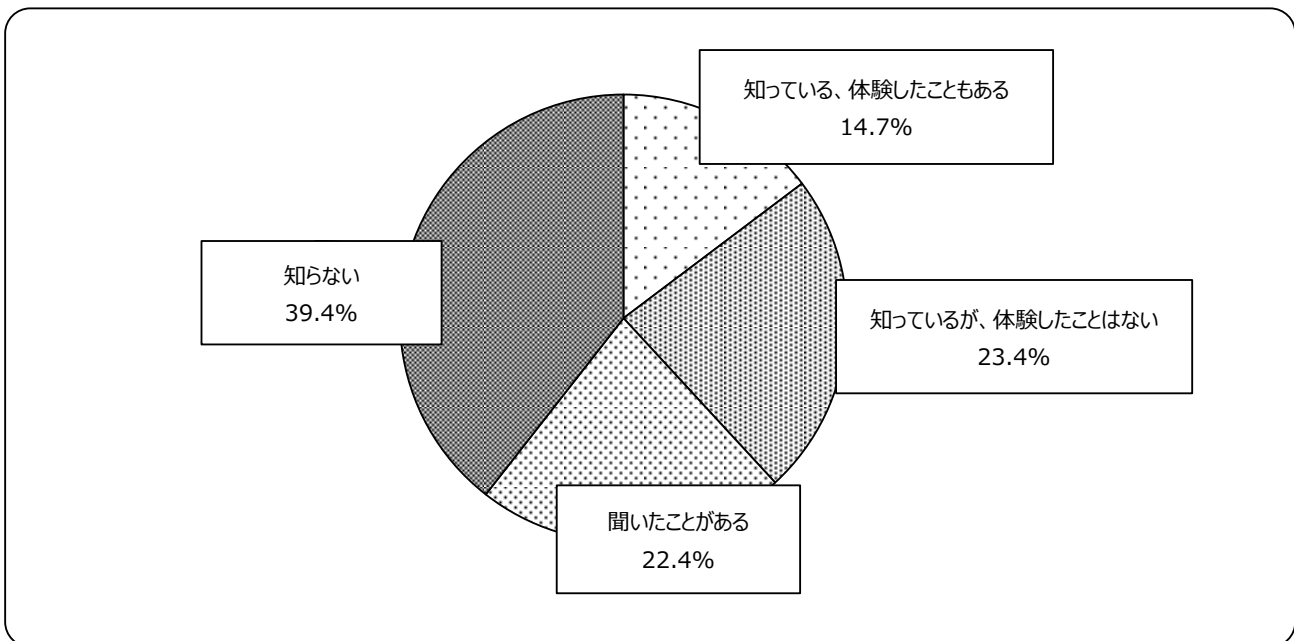


問 40. 年齢とともに、食べ物がかみにくい、口が乾く、むせる、飲み込む力が衰えるなど口腔の機能が低下します。口腔の機能を維持する方法として、「お口の体操」をすることが挙げられます。「お口の体操」を知っていますか。

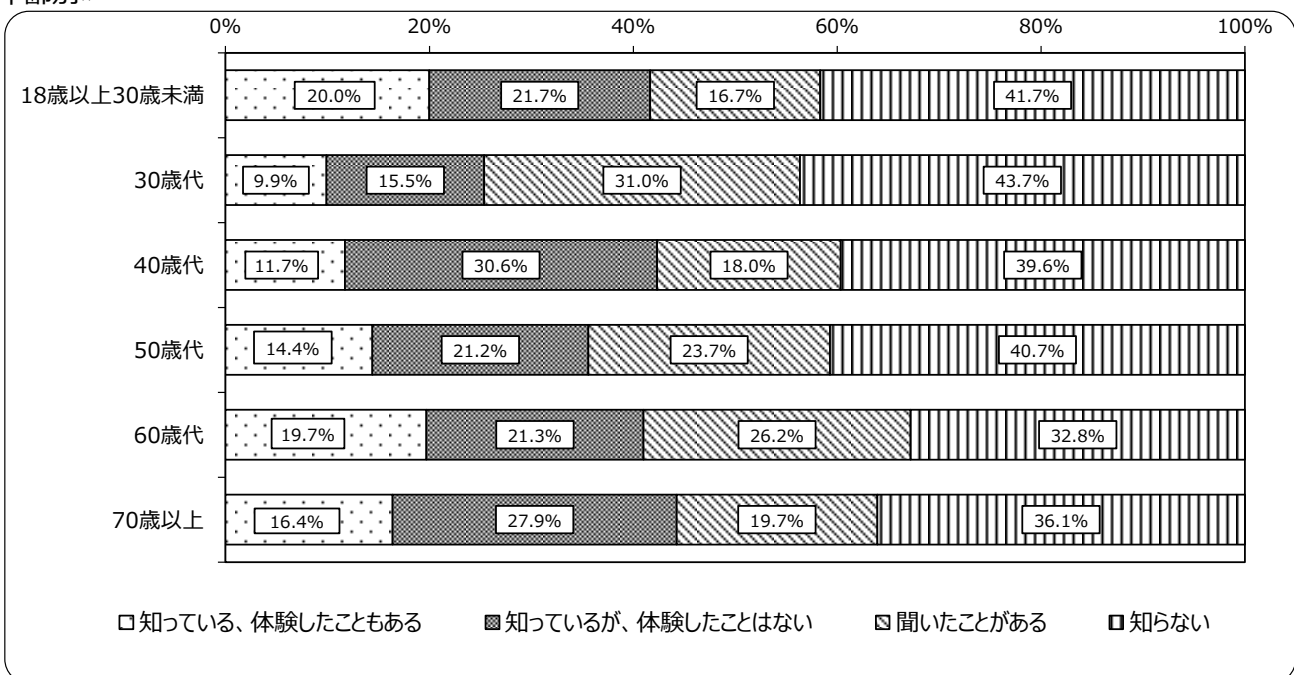
【1つ選択】

「知っている、体験したこともある」と「知っているが、体験したことはない」を合わせた回答率は 38.1%であり、「聞いたことがある」を含めると 60.5%と過半数である。

	選択項目 (N=482)	回答数	構成比
1	知っている、体験したこともある	71	14.7%
2	知っているが、体験したことはない	113	23.4%
3	聞いたことがある	108	22.4%
4	知らない	190	39.4%
	計 (回答総数)	482	100.0%



《年齢別》



問 41. 歯や口（口腔）の健康について、必要と思うことは何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

「自身でのむし歯予防や歯周病予防などの取組」が87.3%と最も高い。次いで「歯や口（口腔）の健康に関する情報が入手しやすいこと」は41.1%となっている。

	選択項目 (N=482)	回答数	回答数/N
1	自身でのむし歯予防や歯周病予防などの取組	421	87.3%
2	歯や口（口腔）の健康に関する情報が入手しやすいこと	198	41.1%
3	歯や口（口腔）の健康に関して職場での取組の充実	87	18.0%
4	歯や口（口腔）の健康に関して学校教育での取組の充実	189	39.2%
5	歯科に関する医療施設（高い専門性を持った施設等）の充実	151	31.3%
6	歯科に関する医療施設に関する情報がわかりやすいこと	149	30.9%
7	歯ブラシなど多くの種類の道具が入手しやすいこと	122	25.3%
8	その他	11	2.3%
9	特にない	13	2.7%

[8 その他]

【主な回答】

- 保険診療範囲の拡大
- 病院との連携
- 家庭で指導
- 歯科の予約しやすさ
- 歯磨きがしやすい環境

